

## 令和3年度第1回経営委員会 会議の記録

日 時：令和3年9月15日（水）18時～19時

場 所：市立旭川病院外来棟3階 中会議室

※外部委員は新型コロナウイルス感染防止のためウェブ形式による参加とした

出席者：

（内部委員8人）

齊藤委員長，青木委員，石井委員，笹村委員，柿木委員，花輪委員，木村委員，古川委員

（外部委員5人）

小関委員，高橋委員，滝山委員，平田委員，宮嶋委員

（事務局5人）

高橋事務局次長，江洲医事課長，山内経営管理課課長補佐，高橋財務係主査，田村医療情報係主査

欠席者：なし

会議の公開・非公開：公開

傍聴者の数：0人

資 料：会議次第

委員名簿

資料1 第4次中期経営計画の策定について

資料2-1 令和3年度第1回経営状況報告

資料2-2 第3次中期経営計画の進捗状況について（令和2年度決算）

資料3 上川中部医療圏の今後の医療需要【外部環境要因】など

資料4-1 中期経営計画 第3次骨子と第4次骨子（案）の比較

資料4-2 次期計画の方向性（案）

会議内容

### 1 開会挨拶

齊藤委員長から開会挨拶を行った。

### 2 委員紹介

事務局から各委員の紹介を行った。

### 3 議題

#### （1）中期経営計画の策定及びスケジュール確認等

事務局から資料1に基づき説明。意見や質問はなし

## (2) 当院の経営状況について

事務局から資料 2 に基づき説明。

### (主な質疑)

#### A 委員

コロナにより日常は大きく変わった。

この地域を守ろうと市内病院が集まり協議しているが、齊藤院長が中心となって進めていただくことで協力しあえる体制ができている。今後も市立病院や市内病院とともに協力し合いながら地域医療を守っていききたいと考えている。

#### B 委員

これまで急性期のベッドが多く整理が必要であるという論調であったが、今回のコロナの一件によりある程度大きな病院が一定程度必要と実感したところである。

市立病院は様々な経営改善に取り組むことで黒字化になったものと理解した。今後も将来にわたって安定的な医療を提供するため、医療の提供体制を強くしていくことが重要である。

#### C 委員

令和 2 年度が黒字化したのは理解した。今現在の経営状況はどうか。

#### 齊藤委員長

当院ではコロナ感染者のベッドを確保するため一般病床の入院を制限しているほか、看護師の人員を確保するため外来看護師も病棟に勤務させていることから、外来診療も 50%の制限をかけており医業収益は非常に厳しい状況にあるものと考えています。ただし、国や道からの支援により経営への影響は最低限に抑えられるものと見込んでいます。

#### D 委員

コロナ対応にがんばっていただいで安心している。今回の黒字化をきっかけとして、がんばっている病院職員の処遇改善につながればよいと思う。

#### E 委員

コロナにがんばっていただいで市民としてもありがたい気持ちである。病院などからのクラスターの発生で旭川の評判も下がった気がしたが、市立病院のわかりやすい記者発表などにより安心して暮らすことができた。

8年ぶりの黒字ということですばらしいと思うが、市立病院は利益第一ではなく、市民のための病院としてこれからもがんばってほしい。

齊藤委員長

皆様当院のコロナ対応へのご評価ありがとうございます。一つ付け加えますと、コロナへの対応は当院だけではなく他の病院や旭川市保健所などが協力し合ってきたことであります。今後も連携しながら対応していきたいと思います。

(3) 当院の取り巻く環境について（内部環境・外部環境分析）

事務局から資料 3 に基づき説明。意見や質問はなし

(4) 素案作成に向けた骨子・ストーリー案の検討

事務局から資料 4 に基づき説明。意見や質問はなし。

齊藤委員長

以上、御質疑なければこの案に基づき今後素案を作成しますがよろしいですか。

各委員

異議なし

齊藤委員長

議題に関わらず御意見や御質問はありますか。

E 委員

令和 2 年度の取組として断らない救急はすばらしいと思った。手術件数が減少したのはコロナの影響によるやむを得ないものと理解している。新興感染症については今後いつまた新しい感染症が流行するかもしれないので引き続きよろしく願いたい。

齊藤委員長

E 委員からの御意見については次の計画にしっかりと盛り込んでいきたいと思います。

また、人口減少は進んでおり、病院の統廃合の必要性もあることから、そういった時代背景もしっかり認識した上で計画を策定する考えであります。

先ほど E 委員からのご指摘のとおり、市民の皆様が安心して暮らせる地域となるよう、公立病院は利益追求だけではなく、社会的共通資本として一定程度ゆとりを持つことが重要であると考えています。

また、自然災害面では 2018 年のブラックアウトの時、当院は大きなことはできなかったのですが、今後は市と連携しながら一定程度の役割を果たしていかなければならないと思いますので、その旨も次期計画に盛り込みたいと考えています。

以上で第 1 回経営委員会を終了します。